

キャリアパス(人間科学職に求められること)

こちらの図では、人間科学職のキャリアパスを示しています。

人の一生に関わる幅広い分野の仕事を担当する厚生労働省の中で、人間科学職は主に「職業」の分野に関する政策を専門的な視点を生かしながら支えており、その経験を積みながらキャリアアップを図っていきます。その際、厚生労働省の人間科学職には、個々の人間に向き合い課題を一つ一つ解決していく個別支援に直接携わることよりも、むしろ必要な支援を行っていくための仕組みを作り、動かしていくことが求められます。

個別支援の手法を理解したうえで、さまざまな事業・業務・制度・助成金・補助金などの仕組みを創設・改善したり、関係団体などとの連携の体制を構築したり、事業主や国民に対する指導・啓発を進めたり、あるいは現場で用いられる診断・評価・相談・カウンセリング・指導などの手法を開発してさまざまな技法・

ツール・マニュアル・データベースなどを構築したり、現場の相談機能がうまくワークするよう効果的な指導を行ったり、組織マネジメントの方法を検討したりすることなどを通じて、必要な支援を成し遂げていくことが求められているのです。

このため、まずは「総合職」としての企画立案の能力、調整の能力、指導能力などが求められます。さらに、これを突き詰めていくと、積極性、理解力、説明力、論理構成力、リーダーシップ、コミュニケーション能力などが求められることになります。

それでは、次のページから人間科学職として働いている職員を紹介していきます。

